



仙台三高

仙台三高PTA会報



●●目次●●

- ごあいさつ…………… P 2
- 各学年より…………… P 3
- 三高思い出あれこれ… P 3
- PTA活動報告…………… P 4
- 学校行事あれこれ…………… P 5
- 高校総体・文化部活動報告… P 5～7
- 職員紹介…………… P 8

編集発行

宮城県仙台第三高等学校PTA事務局

〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷1丁目19番

TEL 022 (251) 1246 FAX 022 (251) 1247

印刷 創文印刷出版株式会社

題字 菊田奈穂 (48回生)

歴史に対する個人の責任

会長 本郷 隆 盛



十八歳に選挙権が付与された。なぜでしょうか？それは、現在の政治を動かしている当代世帯が、次の世代への負担を増大させながら彼らに発言の機会を与えていないからである。

私は、かつて当時東京大学学長だった政治学者佐々木毅さんとともに中国北京で行われる国際会議へ向かう飛行機の中で、アメリカの議会には、現在の政府の政策が将来の世代にどのよ

うな影響があるかを検討する「護民官」制度があるということを知りなかつたことであり強く印象に残った。

「選挙権」とは、民主主義社会においては政治に携わる政治家を選ぶ権限であり、有権者は政治家の政策の良否を判断して投票することになる。もしそうであるとすれば、選挙権を有する者は、現在の国や社会にどのような問題があり、またそのような問題をどのような方向で解決することが望ましいかを自分

で判断することが必要であるということになる。いま、十八歳以上の若者が、本人の望むと否にかかわらず、国家や社会の諸問題に対して、意思決定する責任があることを明確に規定されたのである。

「選挙権」が、「権利」であることは、容易に理解されよう。だがここではそれが「義務」でもあることを一言しておきたい。

なぜ「義務」なのか、誰に対する「義務」なのか？歴史社会に対する責任である。「現在」も「未来」も、刻一刻と「過去」になりつつあることからすれば、「歴史社会に対する責任」とは、「現在と将来に対する責任」をも含むものである。民主主義とは、歴史に対する責任は国民にあり、国民が自分で決めるという考え

なのである。それが「主権在民」ということなのだ。国の「主権」が「民」に淵源するだけではなく、民衆が、自分の将来を自分で決定するということを意味する。

若者の中には、自分一人が選挙に行っても行かなくても何も変わらないという者がある。そうであるのか？選挙は一人一人の投票の総和であることは、周知のことであろう。

最近の大阪都構想の大阪市民の投票結果はきわどい票差で、大阪都構想を否定した。その票差はわずか一万七四十一票であった。即ち「反対七〇万五七五二」の内、わずか五三七一人が賛成にまわれれば、賛成票が反対票を上回り、大阪市は廃止され大阪府は実現したのである。政治も経済も、いまや「自然法則」で

も「自己運動」でもなく、究極的には、一人一人の意識的、無意識的な選択行為の総和であると考えるのが、現代の社会科学である。

政治に参加するということは、これまでやってきたことが適切であったかという「過去への審判」とこれからのような政策を選ぶのかという「未来への選択」の行使であり、言い換えれば自分の将来を自分で選択することなのである。いま日本社会は戦後七十年が経ち大きな転換点にある。現在、国会で審議されている「安保法制」が、「戦争法案」なのかそれとも「平和法案」なのか、その選択が若者たちの未来に重大な影響を持つことは明らかであろう。

今年度の課題は、次代を拓く学校づくり

校長 氏家 仁



保護者の皆様には、本校の教育活動に対し、日頃より多大なるご理解とご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。今春、53回生が入学し、新たな一年がスタートしました。今年度もPTA、教育振興会、同窓会の皆様の御理解と御協力をいただきながら、生徒の成長に寄与して参ります。

4月16日は開校記念日です

た。9回生の齋藤久芳氏にご講演いただきました。新校舎のイメージを考え、設計から建築、完成までの卒業生の愛のこもったプレゼントが新校舎であったことが生徒に伝えられ、ますます母校愛が強まった一日となりました。5月18日から姉妹校の台湾師範大学附属高級中学の教員と生徒が来校しました。理科の日と授業体験、東北大学工学部研究室訪問で二日間滞在しました。5月16日にISEF(世

界最大の科学研究コンテストである国際学生科学技術フェア)で優秀賞第三等に輝いた2年門口尚弘さんの報告会が22日に行われました。5月6月と三高生が県高校総体、東北大会で優勝、入賞を果たすなど活躍で、多くの感動をもたらしました。中間審査を経て、三年生は暑夏に鍛える、進路実現へと向かう時期となります。

本校は、単なる進学校で高校生活を終わること無く、プラスαを身に付け、進学や就職先で一段と深化発展を遂げる底力を培うこととしております。従いまして、基礎基本の充実を基盤として、基礎体力、高い志をも

つ、そのための高校生活を構築するよう教育計画が立てられており、最近のグローバルに対応した教育、理数教育、ボランティア活動の勧め、部活動と学習活動の実現を図る文武両道を推進しております。教職員も、自己研鑽に余念無く、授業研究、カリキュラム開発、授業技術の開発を行っております。校務分掌に新たに、「SSH・授業づくり研究センター」を設置し、全校一丸となつて、県のみならず全国のリーディングスクールとして、時代の先端を走っており、教員も全国の研究会や学会等に多く派遣しております。SSH事業や県の事業を活用し、

財政援助をいただきながら、生徒の教育に少しでも役に立つようにと工夫をしております。不足の分は、保護者の皆様の御協力をいただきながらと考えておりますので、御理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

報道では、次期学習指導要領の改訂に向けて諮問、大学入試が変わると、スケジュールが示されました。良いものはいち早く挑戦する学校として様々な取り組みを行います。アクティブラーニング、4観点英語教育、課題研究、生徒が主体的に学び、生きるための工夫・・・と仙台三高はスタートを切ります。

各学年より

最終学年として



第三学年委員長
千田 陽子

本年度も学年委員長をさせて頂いた事で事になりました。保護者の皆様、先生方におかれましては日頃より多大なご協力を頂き、深く感謝しております。いよいよ最終学年です。三学年委員長として、私に何が出来るでしょうか。私が出会いました三学年委員長さんは、優しくご指導してくださりながら、しっかりと役員の方々とまとめていらつしやいました。歴代の三学年委員長さん達には及びませんが、少しでも近づけますよう努力して行きたいと思っております。

先日、高総体の応援に行つて来ました。一年生の時より積み重ねてきた努力が勝利という形で実を結び、部員と応援に来てくれた生徒が、輪になって喜びあう「チーム三高」の姿に感動いたしました。最後という事もあり、どの行事も感慨深く、終わるたびに寂しさを感じます。子供達のように、残りの三高生活を充実したものにして行きたいと思えます。

本年度、学年委員を引き受けてくださいました皆様、誠にありがとうございます。役員の方々に「三高で役員をやつて良かった、楽しかった」と思ってもらえるよう頑張りますので、残り一年よろしくお願い致します。

二年目もパワフルに



第二学年委員長
長岡せい子

子供達が五十二回生として、入学して一年がたち、学校にも慣れ、益々活躍する姿が眩しいこの頃です。

昨年度の委員活動は、先生方、保護者の皆様のご協力で務めることができました。ありがとうございます。

今年度も委員継続の方に新メンバーを加えてスタートしました。更に充実した楽しい活動になる予定です。

高校生という時期は、全てにおいて成長著しい時です。勉強部活にと同時にやらなければならぬことが沢山あります。だからこそ、強い精神力が求められ、養うことのできる時です。受験、社会人に備えて、今から「心に筋肉」をつけて欲しいのです。三高には、「文武両道」の伝統と校風があります。筋肉をつけるには、最高の環境です。

子供達の心と体に、良質の筋肉をつけさせるために栄養を送り続けましょう。そして私達保護者は、筋肉の衰えを感じさせないよう、維持しパワフルに活動していきます。

今年度も宜しくお願いします。子供達と熱い三年間を三高で過ごしましょう。

五十三回生の皆様へ



第一学年委員長
名取直保美

仙台三高へ入学して早三ヶ月、親子共に新しい生活を踏み出した五十三回生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？子供達は学校生活、部活動に希望を大きく膨らませ、厳しいながらも頼もしい先輩方のご指導を頂き、次第に難しくなっていく授業に息切らしながら、毎日踏ん張っている事でしょう。家に帰れば、あれ？なんか静かだな・・・と部屋を覗いてみれば、いつの間にか眠っている子供も少なくないはず。

でも、そんな毎日がまさに『青春』！いつの日か子供達が今の私達ぐらいの年齢になった時に「あの時は・・・」と、友と懐かしい思い出を語り合う事ができるよう、この三年間を見守つていきたいと思えます。

我々PTA一学年委員も、皆様のご協力を頂きながら、一歩ずつ歩み出しました。まだ不慣れなところもあり、先輩役員の皆様に色々ご指導頂きながら、活動をしております。これも何かのご縁ですので、是非PTA行事にご参加頂き、私達保護者も三高生活を楽しませましょう。宜しくお願い申し上げます。

三高思い出あれこれ

仙台三高教諭 菅野 貴人 (32回生)

今年度は第一学年を担当することになり、クラスの生徒と共に応援歌指導を久しぶりに受けることになりました。生徒たちが必死に応援歌を暗記する姿を見て、生徒手帳を凝視していた遙か昔の自分の姿が自然と思い出されました。つい応援歌を口ずさみ、何とも言えない苦みをともなった思いで胸がいっぱいになりました。あの時の必死さが自分を三高生にしてくれたと思っています。

また、部活動でも三高生として鍛えられました。私はバドミントン部に所属しておりました。今でも目を閉じると、どんよりと暗い体育館で野太いかけ声とシューズのキュッキュッと床を鳴らす音、羽を弾く金属的な高い音だけが響く場面が思い浮かびます。そんな環境でバカみたく精も根も尽き果てるまで練習していたことが、自分を精神的にも肉体的にも技術的にも強くしてくれたのだと思います。

あれから20年近く経ちましたが、母校での指導の中で、子どもたちの中に三高魂が引き継がれていることを強く感じています。今も応援練習や部活動の中で鍛えていく伝統がそうさせているのでしよう。

三高生の良いところは、努力する才能に長けているところです。雑草のように踏まれてもたくましく伸びる三高の後輩の成長を期待し、乱文ながら筆を置かせていただきます。



PTA活動

6月

各学年研修会

PTA各学年研修会の開催

6月27日(土)午後1時30分大講義室にて第3学年PTA前期研修会が開催されました。進路指導部長齋藤英明先生に、センター入試に向けて「あの高校受験の情熱をもう1度」という格言をいただきました。

文責:谷 政子



5月

マナーアップ運動

マナーアップ運動について



5月14日の朝、マナーアップ運動を実施しました。先生方とPTA役員6名が校門付近に立ち、声かけと指導を行いました。

車、自転車、歩行者で大変混雑する時間帯でしたが、マナーよく登校していました。

文責:浅野 純恵

4月

総会

PTA総会が開催されました。

4月25日(土)午後1時30分から本校体育館でPTA総会が開催されました。当日は237人(委任状664人)の保護者の皆さんの参加の中、下記のような議題について話し合われました。当日は引き続き学年総会、学級懇談会も実施されましたが、途中から参加される保護者の方も多数おり、学校への関心の高さが伺えました。来年度も多数の保護者の皆様の参加をお願いいたします。

主な議題

- 平成26年度事業報告
- 平成26年度会計報告
- 平成27年度事業計画
- 平成27年度会計予算案について
- 平成27年度本部役員選出
- 平成27年度PTA全体研修について



10月

後期研修会

PTA後期研修会のご案内

平成27年10月3日(土)
今年度は研修旅行を実施する予定です。
ぜひご参加下さい。



PTAコーラス ルシオールルシオールの活動

「仙台三高PTA合唱団ルシオール」について

PTAコーラス“ルシオールLuciole”は、結成7年目。現在男女43名が菅野淳一先生の御指導の元、月一回合唱曲からポップスまで、様々な曲を楽しく歌っています。ルシオールの最大の特徴は卒業がないこと!子供は卒業しても三高みかまや歌友との絆は永遠です。歌ってストレスを発散したい、友達を作りたい、三高の情勢が知りたいというあなた。ぜひ「大人のクラブ活動」に参加してみませんか?初心者大歓迎です。入会をお待ちしています。

<文責> 船越 道子



入学式

三高 入学式



歌唱指導



応援団長 遠藤 柚奈

未だ見ぬ一年生を相手にする以上、歌唱指導が全てこちらの思う通りに進行為るとは限ら無い。今年も例に洩れずそうだった。特に今年度は私以外の幹部にとって初めての指導でもあり、私からの説明だけでは実際が分から無かった事も多かったろう。其の様な中でも歌唱指導を成功させる事が出来たのは、周囲の皆の力が在ったからだ。先生や先輩方、応援団の仲間達。周囲の協力無しには、応援団の活動は成り立たない。来年も更に良い歌唱指導をして貰いたい。

対面式



理数科の日



壮行式



生徒総会



部活(文化部)活動



★自然科学部(化学班)
インテル国際学生科学技術フェア(Intel ISEF)化学部門
優秀賞(3等賞) 門口尚広



★放送部
第62回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会
テレビドキュメント部門
最優秀賞
創作ラジオ部門
最優秀賞
研究発表部門
優秀賞
(以上全国大会出場)



★演劇部
5月6日春季合同公演
於…エルパーク仙台



★吹奏楽部
5月5日 第27回定期演奏会
7月25日 吹奏楽コンクール出場



【男子】	200m	個人メドレー	渡辺祐希	4位
【女子】	200m	平泳ぎ	佐藤雅士	6位
【女子】	100m	平泳ぎ	小山 薫	3位
【女子】	200m	平泳ぎ	小山 薫	4位

(以上東北大会出場)

★水泳部



1、2回戦シード	準々決勝	対 気仙沼海洋	7-54	敗退
5・7位決定戦	対 仙台南	40-12	勝利	

★ラグビー部



【男子】	1回戦	対 石巻商業	0-2	敗退
【女子】	1回戦	対 加美農業	0-2	敗退

★バドミントン部



【男子】	1回戦	対 岩ヶ崎	3-0	勝利
【男子】	2回戦	対 東北	0-3	敗退
【女子】	1回戦	対 宮城広瀬	3-1	勝利
【女子】	2回戦	対 佐沼	0-3	敗退

★バドミントン部



【男子】	団体	対 仙台商業	2-0	勝利
【女子】	2回戦	対 仙台一	1-2	敗退
【個人】	1回戦	対 気仙沼	0-2	敗退
【個人】	準々決勝	対 大岩・山本	6-7	敗退
【個人】	準々決勝	対 東陵	ベスト8	

★硬式テニス部



1回戦	対 石巻北	4-1	勝利
2回戦	対 仙台一	1-0	勝利
準々決勝	対 多賀城	3-0	勝利
準決勝	対 東北	0-1	敗退
3位決定戦	対 巖手工業	3-0	勝利

(県3位 東北大会出場)

★サッカー

感動をありがとう



【男子】	個人	千葉 汀 (66kg)	2回戦敗退
------	----	-------------	-------

★柔道部



【団体】	男子・優勝	東北大会、インターハイ出場
【個人】	近の競技	齊藤 颯 5位
【個人】	射道審査	齊藤 颯 2位

(東北大会出場)

★弓道部



【男子】	ロードレーサー1kmタイム・トライアル	1位
【男子】	ロードレーサー2kmインディビジュアルパシユート	1位

東北大会出場

★自転車



【女子】	団体	なし		
【女子】	1回戦	対 仙台青陵	3-0	勝利
【女子】	2回戦	対 泉館山	2-0	勝利
【女子】	3回戦	対 生文大高	2-0	勝利
【女子】	4回戦	対 宮城一高	0-2	敗退

【男子】	団体	なし		
【男子】	1回戦	対 仙台青陵	3-0	勝利
【男子】	2回戦	対 泉館山	2-0	勝利
【男子】	3回戦	対 生文大高	2-0	勝利
【男子】	4回戦	対 宮城一高	0-2	敗退

【男子】	団体	対 仙台城南	3-0	勝利
【男子】	2回戦	対 ウルズラ魯	2-1	勝利
【男子】	3回戦	対 登米	2-1	勝利
【男子】	4回戦	対 大河原商	2-1	勝利
【男子】	準々決勝	対 石巻北	2-0	勝利
【男子】	準決勝	対 東北	0-2	敗退

第2位 (東北大会出場)

★ソフトテニス部

